

平成28年8月2日

各 位

会社名 日本電産株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 永守 重信
取引所 東証一部 (6594)
問合せ先 広報宣伝部長 生島 志朗
TEL (075)935-6150

**米国 Emerson Electric Co.のモータ・ドライブ事業及び発電機事業の
取得に関するお知らせ**

日本電産株式会社（以下、当社）は平成28年8月2日（日本時間）開催の取締役会において、米国有数の産業コングロマリット企業である Emerson Electric Co.（以下、Emerson）から、Emerson のモータ・ドライブ事業および発電機事業（以下、対象事業）を取得する（以下、本件）ことを決議し、平成28年8月2日付（米国時間）で Emerson と資産株式売買契約を締結致しましたので、お知らせ致します。

1. 本件の目的

当社は産業用・商業用事業を戦略的に重要な事業の一つと位置づけ、成長、強化に努めて参りました。かかる戦略の方針の下、当社は平成22年10月に同じく Emerson から Motors & Controls 事業（現：日本電産モータ）を買収し、この日本電産モータを基軸として、産業用・商業用事業の強化のため、平成24年6月に大型産業用モータ、ドライブ、発電機メーカーの Ansaldo Sistemi Industriali S.p.A.（現：日本電産 ASI）、平成24年9月に産業用エンコーダメーカーの Avtron Industrial Automation, Inc.（以下、Avtron）¹ および商業用モータメーカーの Kinetek Group Inc.²を買収し、更なるグローバルな事業基盤の確立と製品ラインアップの補完・拡充を進め、大きく規模を拡大して参りました。本件も当該戦略の一環であり、対象事業を買収する事により、進化するお客様のニーズに柔軟に応えるべく当社の産業用・商業用事業をさらに強化し、新たなステージへと発展させて参ります。

対象事業は産業用モータ、ドライブ、発電機分野で、とりわけ欧州・北米地域において高いブランド力と強固な事業・顧客基盤を有しております。直近では原油価格の下落と軟調なマクロ環境といった循環的要因により売上高が伸び悩んだものの、中長期的には市場ダウントレンドの底打ち・再成長やシナジー創出により底堅い成長が予想されます。具体的には、産業用製品のフルラインナップ化と欧州・北米地域における事業基盤の地理的補完に加え、対象事業のドライブと当社モータの組み合わせによる顧客提案力の強化が可能となります。

¹ Avtron Industrial Automation, Inc.は平成28年3月31日付けで日本電産モータに吸収合併されました。

² Kinetek Group Inc.は平成28年3月31日付けで日本電産モータに吸収合併されました。

① 産業用製品のフルラインナップ化と地理的補完

- 当社の産業用モータは米国の NEMA 規格³が主であるため、対象事業の低圧 IEC 規格⁴モータを獲得することにより製品ラインアップの拡充が可能となるだけでなく、クロスセルによる売上拡大が期待されます。
- 当社は 10 メガワット以上の中圧発電機に強みを有しておりますが、対象事業は 10 メガワット未満の低圧・中圧発電機に強みがあるだけでなく高いブランド力も有しており、発電機において低圧から中圧までの製品ラインナップを拡充し、幅広い顧客ニーズに応じることが可能となります。
- 当社の産業用モータ・発電機事業において、プレゼンスが無かったもしくはプレゼンスが弱かった欧州・北米地域において対象事業の強固な顧客基盤を獲得することができ、また、アジア地域においても一定のプレゼンスを獲得することができます。

② 対象事業のドライブと当社モータの組み合わせによる顧客提案力の強化

- 既存の中圧ドライブから対象事業の低圧ドライブまで含めた幅広い製品ラインアップを揃え、かつ、世界有数のドライブおよびモータ制御技術を取り込むことで、当社のドライブ事業の競争力を高めることができます。
- 対象事業のドライブは当社が十分なプレゼンスを持たない FA・機械制御市場において強みを有する一方、当社は対象事業が十分なプレゼンスを持たない北米の HVAC・ポンプ市場に強みを有しております。両社の強みを活かし、当該市場において、当社製品と対象事業のドライブ事業製品のモジュール販売による更なる事業拡大が期待されます。
- 対象事業はエレベータ用のドライブでも高い技術力を有しており、当社のエレベータ用モータとのパッケージ販売が可能となるだけでなく、モータとドライブの一体開発も期待しております。
- 欧州・中国の風力発電市場において、対象事業の風力発電向けピッチ・コントロール・アプリケーションと当社 (Avtron) のエンコーダおよびのモータとのモジュール販売によるシナジーも見込まれます。

加えて、対象事業のサーボモータとギアのフルラインナップを獲得することにより、モーション・コントロール、AGV、ロボティクス市場への参入が加速するなど、新たな事業領域での成長も期待できます。

以上のように、対象事業及び当社が長期に亘り築いてきた強固な製品力、ブランド力、

³ NEMA 規格 : National Electrical Manufacturers Association (米国電機製造業者協会)により発行された規格

⁴ IEC 規格 : International Electrotechnical Commission (国際電気標準会議)により発行された規格

優良な顧客ポートフォリオの融合により、当社グループの成長を更に加速させ、新中期戦略目標である 2020 年度売上高 2 兆円の達成に貢献するものと確信しております。

2. 譲受対象事業の概要

(1) 譲受対象事業の概要

(1) 譲受対象事業	Emerson Electric Co.のモータ・ドライブ事業及び発電機事業		
(2) 主要な対象会社及び所在地	Leroy-Somer Holding (所在地：フランス) Control Techniques Limited (所在地：イギリス) Emerson Industrial Automation USA LLC (所在地：アメリカ) Kato Engineering Inc. (所在地：アメリカ) Leroy Somer Electro-Technique (Fuzhou) Co., Ltd. (所在地：中国) Emerson Industrial Automation Electric Power Generation Private Ltd. (所在地：インド)		
(3) 事業内容	モータ、ドライブ、発電機の製造・開発・販売		
(4) 従業員数	9,703 人 (2015 年 10 月 1 日時点)		
(5) 当社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	重要な取引関係はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(6) 当該事業の最近 3 年間の経営成績			
決算期	2013 年 9 月期	2014 年 9 月期	2015 年 9 月期
売上高	1,984 百万ドル	1,989 百万ドル	1,674 百万ドル
EBITDA	273 百万ドル	260 百万ドル	175 百万ドル

(2) 取得価格及び対価

取得価格は 1,200 百万ドル (キャッシュフリー・デットフリー企業価値ベース) であり、対価は現金と致します。

(3) 取得のストラクチャー

対象事業に関連する会社の株式及び関連する資産・負債を買収致します。

(注) 資産・負債の金額については、譲受対象事業が Emerson の財務報告セグメントの一部であり正確な金額の算定が困難なため、記載しておりません。

3. Emerson の概要 (2015 年 9 月 30 日現在)

(1) 名 称	Emerson Electric Co.
(2) 所 在 地	8000 West Florissant Avenue St. Louis, MO 63136 USA
(3) 代表者の役職・氏名	David N. Farr (Chairman and Chief Executive Officer)
(4) 事業内容	電源供給、プロセス制御、産業オートメーション、冷凍・

		空調機器、電化製品、工具等の広範な分野で産業用から一般消費者用に至るまでの、広範な電気・電子機械機器等の設計・開発・製造・販売及びソリューションの提供	
(5)	設立年	1890年	
(6)	売上高	22,304百万ドル	
(7)	純資産	8,081百万ドル	
(8)	総資産	22,088百万ドル	
(9)	資本金	477百万ドル (2016年3月時点)	
(10)	大株主及び持株比率	The Vanguard Group (6.4%) BlackRock, Inc. (5.8%)	
(11)	当社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	重要な取引関係はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 本件対象となる主要な対象会社の譲受後の所有株式の状況

主要な対象会社	譲受前の議決権割合	譲受後の議決権割合
Leroy-Somer Holding	0%	99.8%
Control Techniques Limited	0%	100%
Emerson Industrial Automation USA LLC	0%	100%
Kato Engineering Inc.	0%	100%
Leroy Somer Electro-Technique (Fuzhou) Co., Ltd.	0%	100%
Emerson Industrial Automation Electric Power Generation Private Ltd.	0%	100%

5. 日程

(1)	取締役会決議日	平成28年8月2日
(2)	契約締結日	平成28年8月2日 (米国時間)
(3)	案件完了日	第3四半期内を想定 (競争規制当局の認可状況等の事情によっては、変更される可能性があります。また、一部地域の事業については、案件完了が遅れる可能性があります。)

6. 会計処理の概要

正ののれんの発生が見込まれますが、概算金額につきましては現在算定中であり、確認でき次第お知らせ致します。

7. 今後の見通し

今期の業績に与える影響につきましては、取得完了日を含め詳細が確定次第、東京証券取引所における開示原則に基づき適切に公表致します。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (平成 28 年 7 月 22 日公表分) 及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結税引前利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益
当期連結業績予想 (平成 29 年 3 月 期)	1,250,000 百万円	130,000 百万円	130,000 百万円	98,000 百万円
前期連結実績 (平成 28 年 3 月 期)	1,178,290 百万円	117,903 百万円	117,405 百万円	90,120 百万円

(注) 当社は平成 29 年 3 月期の第 1 四半期より国際会計基準 (以下、IFRS) を適用しており、当期連結業績予想は IFRS に基づき作成しております。また、前期連結実績につきましても IFRS に準拠して表示しております。